

## 50周年に寄せて

一般財団法人山梨県消防協会 副会長

甲斐市消防団 団 長

花輪 貞夫



山梨県消防学校創立50周年、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

消防学校は、昭和40年の開校以来、消防職員・消防団員に対する教育訓練の場として、永きにわたり山梨県消防の発展のために多大な貢献をなされてきました。このことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

この間、我が国は阪神・淡路大震災、東日本大震災などに見舞われ、それ以降も台風や集中豪雨、土砂災害などこれまでの経験では考えられなかった災害や事故が日本各地で次々に発生し、また、近い将来には東海地震や首都直下地震など大規模地震の発生も懸念されています。

このような中、地域の安心安全を確保し、住民の生命、財産を守るため、地域防災力の充実強化が求められており、消防団にはその中核として大きな役割を果たすことが期待されています。

消防学校におかれては、幹部教育などの各課程において、消防団活動や運営に係る教育訓練を実施するほか、災害現場などにおける活動の重要性に鑑み、現場指揮者の安全管理等に係る課程の拡充強化を図るなど、消防団員の一層の資質向上に御尽力いただいているところであります。

一方、少子高齢化の進展、就業構造の変化、地域コミュニティの変容など消防団を取り巻く社会環境は変化しており、消防団員の確保など取り組むべき課題も生じています。

こうした社会情勢の変遷に正面から向き合い、課題の克服に取り組むとともに、関係団体との一層の連携に努めながら多様化する消防団活動の活性化を図り、地域防災の担い手として期待される役割を果たして参りたいと考えています。

協会と致しましても、消防技術や組織の強化など消防団員の教養訓練等を通じ、より活力に満ちた組織づくりなどに努めて参りますので、消防学校の皆様の今後一層の御指導、御協力をお願い申し上げます。

結びに、今日まで消防学校の運営に御尽力されました多くの皆様方に改めて敬意と感謝の意を表しますとともに、人材育成を担う山梨県消防学校の今後のますますの御発展と御活躍を御祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

## お祝いのことば

山梨県消防長会 会長

甲府地区消防本部 消防長

曾 雌 芳 典



山梨県消防学校創立50周年を迎えるにあたり、心からお祝いを申し上げます。

山梨県消防学校は、昭和40年4月に甲府市住吉二丁目に開校し、その後、昭和50年8月に現在の中央市今福への移転を経て、平成27年3月に新校舎が竣工され、平成27年度に50周年の大きな節目を迎えられました。

半世紀の長きにわたり、山梨県下の消防職員及び消防団員等への県内唯一の消防教育機関として、その重責を果たしてこられましたこと並びに情熱と英知をもってご指導いただきました歴代の学校長をはじめ、学校運営にご尽力を賜りました関係各位に対しまして、心から深く敬意を表する次第であります。

さて近年、全国各地において、想定をはるかに超えた大規模地震や集中豪雨などの自然災害が発生するとともに、高齢化をはじめとする社会環境の変化に伴い、複雑多様化する火災や事故も発生しており、多くの県民の安心・安全への関心は高く、消防機関に寄せられる期待もますます大きくなってきております。

このような状況の中、団塊の世代と呼ばれる経験豊富な多くの消防人が退職しており、若い消防人をいかに育成していくかが大きな課題であり、消防学校の役割はこれまでも増して大きなものとなってきております。

山梨県消防長会といたしましては、県内の消防組織体制の連携をより強固なものとするため、消防本部間はもとより、消防学校との緊密な協力体制を築いていくことが必要不可欠でありますことから、更に精進してまいりる所存であります。

山梨県消防学校の良き伝統が受け継がれ、次世代においても、優秀な消防人の育成の場となりますよう、更なる飛躍をご祈念申し上げます。

結びに、山梨県消防学校の今後ますますのご発展と、関係各位のご隆盛をお祈りいたしまして、創立50周年のお祝いのことばとさせていただきます。